

## 日本商工会議所青年部 会長としてメンバー間の 「絆」を育み、被災地から 全国に向けて 情報を発信します。

日本商工会議所青年部 平成25年度会長  
仙台商工会議所1号議員  
株式会社阿部蒲鉾店 代表取締役社長

あべ かずお  
**阿部 賀寿男**氏

### プロフィール

昭和40年4月13日 仙台市生まれ。血液型A型。  
昭和63年東北学院大学経済学部を卒業後、味の素(株)に入社。  
平成3年(株)阿部蒲鉾店に入社し、常務取締役、専務取締役を経て19年に(株)阿部蒲鉾店3代目社長に就任。20年には仙台商工会議所青年部会長を務め、23年2月に開催された第30回全国大会「みやぎ・仙台大会」大会会長として同大会を成功に導いた。24年度日本商工会議所青年部副会長を経て、現在に至る。



### 目指すのは青年経済人の 交流と連携、研鑽

—日本商工会議所青年部(以下、日本YEG)の設立目的や、活動内容について教えていただけますか。

日本YEGは各地域にある商工会議所青年部の連合会で、昨年設立30周年を迎えました。現在は406商工会議所の青年部、28,000人名のメンバーで構成されていて、主に「組織力強化」「ビジネス活動」「研修活動」そして「提言活動」の4つを重点事項として運営しています。特に提言活動については、中小企業が抱える課題など各地の声を集めて検証し、日本商工会議所に継続して提言しています。

また、毎年開催している青年部の全国大会や会長研修会、全国を9つのブロックに分けて地域ごとに実施するブロック大会などは、メンバーの貴重な研修の場としても活用しています。中でも全国大会は、商工会議所活動の一翼を担う全国各地の青年経済人の交流と連携、研鑽を目的に開催するもので、会の主管を経験することで、青年経済人として地域に貢献できるリーダーシップも養われると自負しています。全国会長研修会では、各地のYEG会長が一堂に会し、毎年テーマを設けて悩みを共有したり、活動の成功例を紹介し合ったりしながら、次年度の活動に活かしています。

平成23年に行われた「第30回全国大

会」は仙台YEGが所属する宮城県商工会議所青年部連合会が主管し、大会会長を務めた私が、24年度の日本YEG会長候補者となっておりました。しかし、全国大会の3週間後に発生した東日本大震災によって自分の会社も被災したことから、悩んだ末に会長職を遂行することは難しいと判断。そのことを全国の仲間と相談したところ、本来は私の翌年に会長を輩出する予定の富山県連から準備期間が少ない中、1年前倒しで輩出してもらえないことになり、私は1年間の猶予をいただいで25年度に就任することとなりました。

会長の年度交代の時もそうですが、震災発生直後には、全国のYEGから救援物資を送っていただいたり、トラックで駆けつけて炊き出しをしてくれたメンバーもいました。商工会議所YEGのつながりの深さ、そのありがたさを改めて実感しましたね。

### 東北から全国へ 被災地の現状を発信

—今年度はどのような事業を行う予定ですか。

震災から2年が経過したいま、被災地である仙台YEGから会長が選出されたことは、大きな意味と責任があると受け止めています。先日も全国の会頭が出席する日本商工会議所の会議で、所信を述べさせていただきましたが、東北から日本全国に被災地の現状を

しっかりと伝えることが私に課せられた使命とっております。

その一環として、8月23日・24日の2日間にわたり「震災復興フォーラムin岩手」を北上市で開催することにしております。多くのメンバーに今の被災地を見ていただいて、その経験を地元へ持ち帰っていただく。これが、今後予想される東海、東南海地震といった災害において、会社や社員、家族や地域をどう守っていくのかを考える一つのきっかけになるものと思っております。そして、それが震災の風化抑制につながることを期待しています。

内容はこれから具体化しますが、開催地は被災した地域です。参加者は負担もかけられませんから、参加者は先着500人に限定しようと考えています。初日に記念講演やパネルディスカッションを行い、2日目に沿岸地域を見ていただきたいと思います。記念講演では、被災した企業の方に事業再開から軌道に乗るまでのお話をう



4月18日 日本商工会議所常議員会で所信を述べる阿部会長

かがう予定です。さらにパネルディスカッションでは、被災地を代表するような立場の方々をパネラーに、各地域の問題点を探りながら、解決策を講じる糸口を見つけ出したいと考えています。

—その他の事業についても、ご紹介いただけますか。

ビジネスの部分では、昨年、「YEGモール」というインターネットショッピングサイトをオープンしました。良質な商材を持つ地方の中小企業同士がマッチングすることで、地域を元気にすることが目的です。自分の会社が発展しなければ地域貢献はできません。まずは自社の発展のためのビジネス交流を強化していきます。まだ動き出したばかりですので、今後はそれをうまく活用できるしくみを考え、メンバーのビジネスも活性化させていくつもりです。

### 経験で培った財産を 地域に還元

—今年度の抱負をお聞かせください。

日本YEGの25年度スローガンは「高き志を持ち共に進もう輝ける未来のために、YEGの絆を力に変えて」。『絆』には、ビジネスでも災害時でも、ネットワークを大切にしようという思いを込めています。すでに日本YEGでは、震災の翌年に人と人、地域と地域を結ぶ一つの大きなしかけ

として「災害時組み合わせ表」を作成しています。全国を東地区、中地区、西地区の3地区に分けて、それぞれの地区から会員規模が同程度で、地理的に離れているYEGを結びつけ、サポートできる体制を整えていこうというものです。隣接地域同士でグループを作ると震災発生時にサポートどころの状況ではなくなってしまう。今回は3つの地区毎に分けてチームを組んでいるので、そのリスクを回避できるメリットがあります。ちなみに仙台YEGが連携するのは、富山YEGおよび広島YEGとなっています。

この1年間、日本YEGの会長として、仙台YEGのメンバーと共にたくさん経験の積み、人脈を広げて、身につけたものを仙台・宮城に還元したいと思えます。

#### 【概要】

#### 日本商工会議所青年部

設立：昭和58年4月1日  
代表者：会長 阿部 賀寿男  
事業内容：地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献する。  
所在地：日本商工会議所青年部事務局  
東京都千代田区丸の内3-2-2 日本商工会議所内  
TEL.03-3283-7847  
ホームページ：<http://www.reconstruction.go.jp/>

# 海

## 生命の母、たったひとつの『海』。

地球上のありとあらゆる生命の源、『海』。この、『母なる海』を、美しいままで未来へと残していかなくてはなりません。21世紀の子供たちも、今と同じようにこうして海で夏を過ごせるように。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

——より良い環境をめざす——  
**AOBA 青葉環境保全**  
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)